



## ・ 大野盆地の淡水型イトヨ

昭和9年(1934年)5月1日 ほんがんしょうず 本願清水が淡水型イトヨ生息地の南限地として国の天然記念物に指定されました。

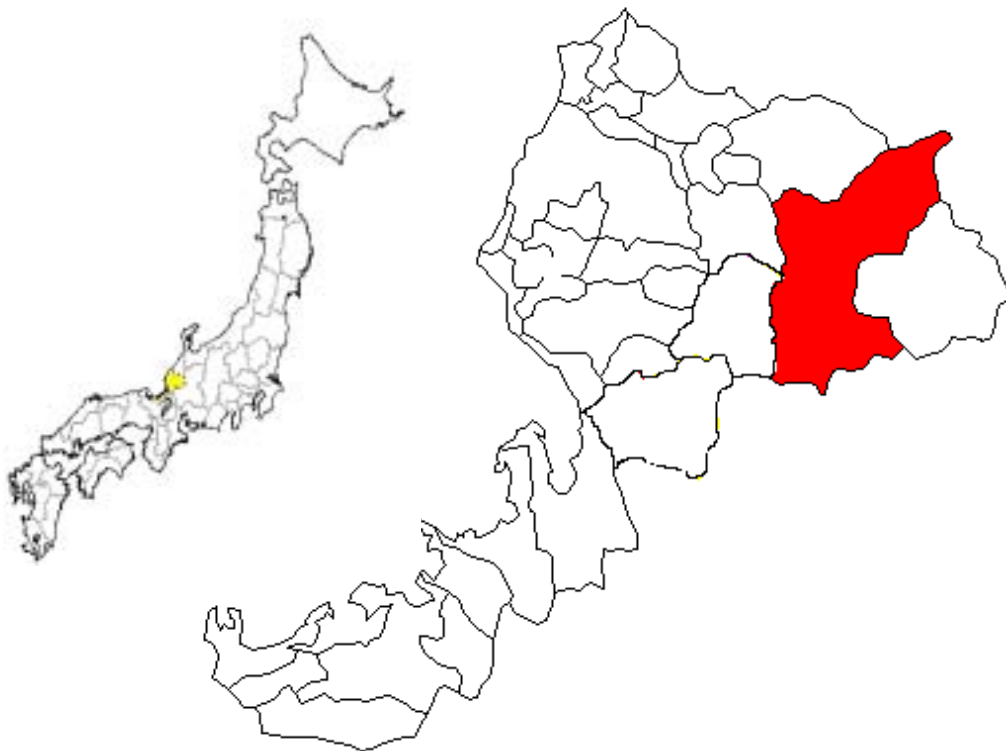


# 1 大野市の位置

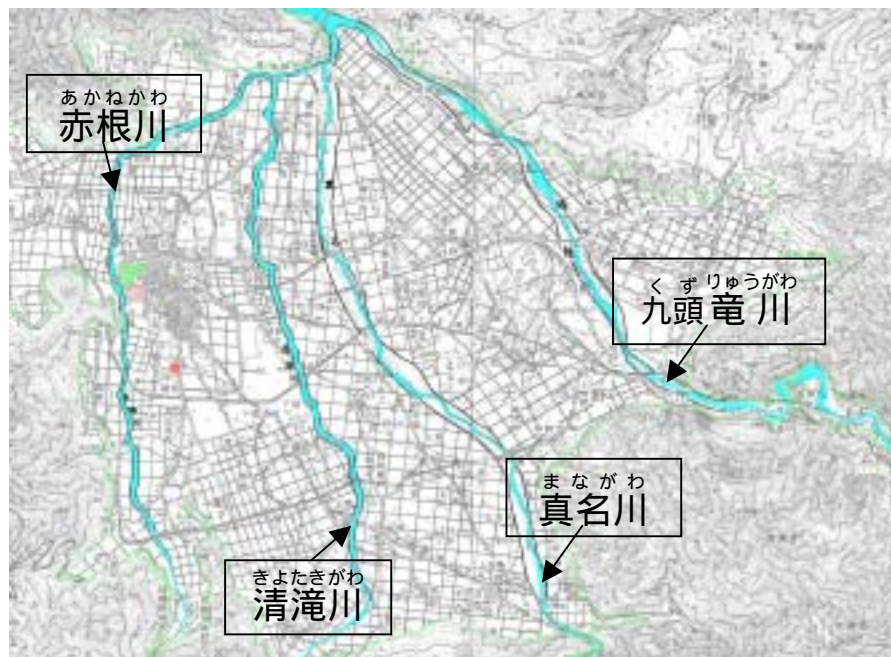
大野市は福井県の東部に位置し、周囲を白山の支脈1,000メートルを超す山々に囲まれた盆地にあります。

盆地の中には、九頭竜川を含め4本の川が流れています。

これらの川は、扇状地を形成し、伏流水は湧き水となって、「環境庁選定 名水百選 おしよす 御清水」、「イトヨの住む ほんがんしよす 本願清水」に代表されるように大野に水の町の印象を与えています。



大野盆地と4本の主要河川



## 2 大野市の水環境

大野が良質な地下水に恵まれていることには、いくつかの地形的理由があげられます。

大野盆地の地下は帯水層の構造になっています。盆地内には九頭竜川、真名川、清滝川、赤根川がほぼ並行して南北に向かって流れ、清滝川沿いには木本扇状地が広がっています。

この扇状地の先端は盆地北西部にある市街地へと続き扇状地や上流で浸透した水が市街地で湧き出ます。

また、大野市の年間降水量は全国平均を大きく上回っています。

この帯水層の構造と豊富な雨量が、大野に豊かな地下水を恵んできていました。

大野の地下水は比較的水位が高いため、ちょっとしたくぼ地では水が湧き出すことがあります。地元ではこれを「清水」と呼んで、古くから飲み水や生活用水として利用してきました。

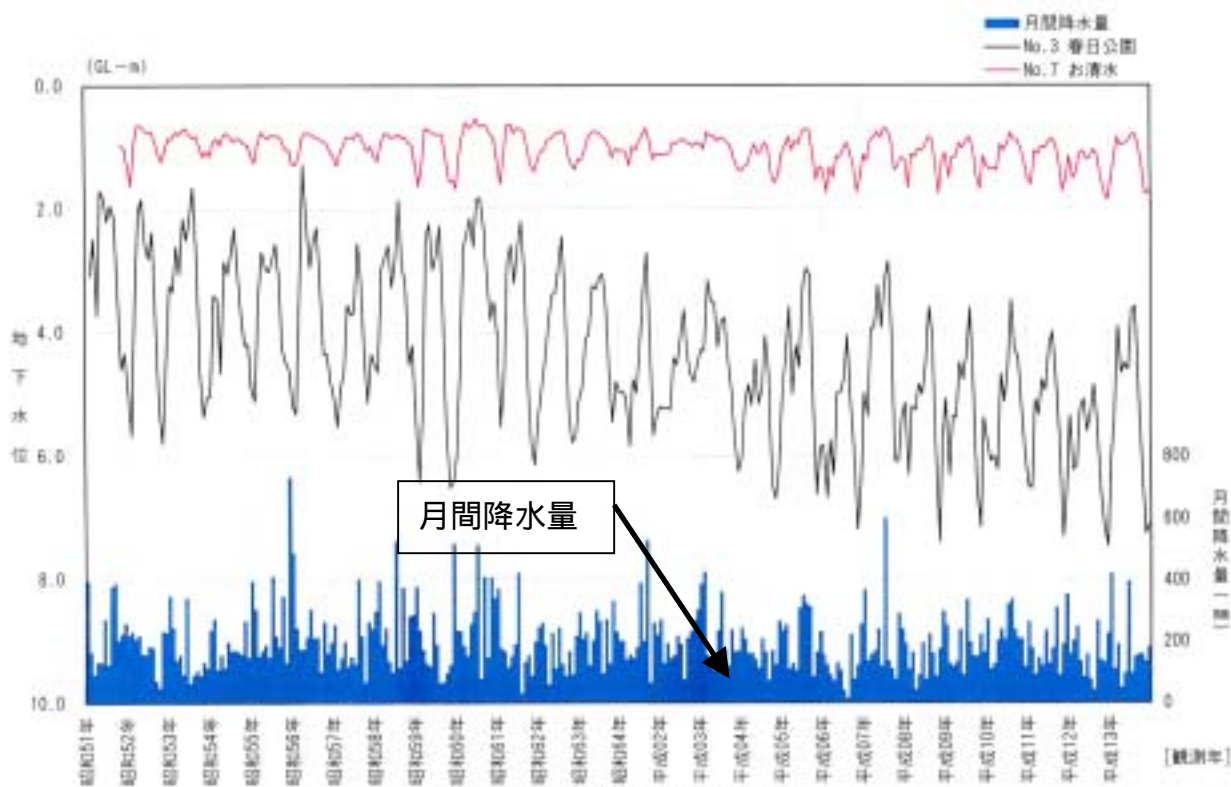


図5. 5(2) 代表的な簡易観測井の経年変化

月間降水量と地下水の変化  
(昭和51年から平成13年)





天正元年(1573)越前を支配した朝倉氏の滅亡後、織田信長の部将<sup>かなもりながちか</sup>金森長近が大野郡を統治し、亀山に越前大野城を構築するとともに、京都に模した城下町を建設しました。市内の南側に位置し、水量が豊富であった本願清水の湧水を市街地まで導き、道路の中央に引き生活用水として

利用しました。

そして、現在も、市街地の飲料水、上水道用水、工業用水の水源は地下水に依存しております。

地下水は<sup>せいちょう</sup>清澄で、おいしく、夏は冷たく、冬はあたたかく、まさに“命の水” “生産の水” “うるおいの水”として、大野市の誇りうるものであります。

地下水は、一年中ほぼ15℃前後  
夏は冷たく、冬は暖かい  
大野の宝です



しかし、地下水の自然涵養量が減少し、利用量が、増大する傾向にあり、昭和40年代後半から、多くの湧水に枯渇現象が現れました。

市内全域にはたくさんのイトヨが、生活水として利用されてきた湧水と共存していましたが、地下水位の低下などにより、本願清水等数箇所に見られるだけとなってしまいました。

イトヨ生息地「本願清水」においても、地下水位の低下にともないイトヨが危機的状況に陥り、池の改修、地下水のモーターポンプによる汲み上げなど対応策を講じてきましたが、危機的な状況からの脱却が出来ませんでした。

### 本願清水の移り変わり

大野の地下水の減少は本願清水にも大きな影響を与えた。それは、イトヨの危機でもあった







平成14年3月

様々な対策が講じられたが状況は悪化するばかりで抜本的な対策が求められた

本願清水の簡易観測井戸の水位表示板

そのような中、平成8年に880万円をかけて、イトヨの大型水槽を市庁舎ロビー設置し、本願清水でも間近に姿がみえないイトヨを直接市民の目に触れられるようにしました。

こうした事等から、イトヨ保護の気運が市民の間からも高まり、『本願清水イトヨの里』の整備につながりました。



市民の関心を高めた庁舎への水槽設置



### 3 本願清水 イトヨの里

当施設は、文化庁の天然記念物整備活用事業の一つとして、平成10・11・12年の3カ年で整備されました。

天然記念物に指定されている動植物は、これまでは、その貴重さゆえに公開や活用に慎重になりすぎる傾向がありました。

「本願清水イトヨ生息地」でも、イトヨを絶滅させないための生息環境の維持を目的としたハード面での整備が主に実施されてきましたが、ソフト面での総合的な保護活動は必ずしも充分ではありませんでした。

当施設は、事業の趣旨に<sup>のっとり</sup>則り、イトヨを地域固有の貴重な財産と考え、生涯学習や環境教育の場、さらには地域起こしの拠点として捉え、「郷土の宝であるイトヨと共に生きる」ことを日常生活の意識の中に育てて、保護育成を行うことを目的に整備されました。

施設整備の機運が高まる平成8年6月、大野市民及びイトヨに関する団体に呼びかけ、イトヨを守ることを通して、住みよい環境づくりを推進することを目的として大野イトヨの会を組織しました。

施設の建設や池の改修と並行してイトヨに関する活動組織の育成にも努めてきました。市内にある開成中学校の教師を中心としたイトヨ及び自然環境の研究活動を行う「イトヨーズ」、本願清水の清掃・イトヨの保護及び調査活動を行う「イトヨを守る会」、イトヨキャラクター・イメージソング等を作成した「大野青年会議所」、荒れた清水を清掃復旧し、イトヨを放流して保護活動を行っている「中野清水を守る会」との連携協力を行ってきました。

それとともに、大野イトヨの会と共催で平成11年度には「イトヨの住むまち大野」、平成12年度には「イトヨ・水・ひと - 会館の果たす役割」をテーマにイトヨシンポジウムを開催し市民に広くイトヨ保護と自然の大切さを啓発しました。こうした準備期間を経て平成13年7月14日に当施設は開館しました。

開館後の平成13年度は、「まちづくり発信；イトヨの里から」、14年度は「イトヨの里に学ぶ環境保全とまちづくり」、15年度には「自然と人との共生～地域資源を活用し、地域を元気にする学校と地域住民の役割～」をテーマ開催いたしました。本年度は、9月25日「トゲウオから日本の水環境を考える」をテーマに第2回トゲウオ全国サミット in Ono を開催します。

第5回イトヨシンポジウム 平成 16年2月28日









大野の地下水コーナーの床には  
くさつ  
空撮写真があり、大野盆地を流れる四  
つの大きな川や扇状地の様子がよくわ  
かります。

また、パネルや模型で大野盆地の地  
下構造の説明や大野の代表的な湧水  
地の今と昔を紹介しています。

「イトヨとともに」のコーナーでは、イトヨや  
地下水を守る市民の活動や、森や水を守る  
ための施策を紹介していて、市民や子ども  
の活動レポートなども掲示しています。



学習展示コーナーの階上には、「イトヨの卵」、「イトヨ  
の巣」などの子どもむけ各種遊具があります。このコーナ  
ーの回転滑り台はスリル万点で子どもたちに大人気とな  
っています。



レクチャー・ルーム

レクチャー・ムでは、ふだんは学習ビデオを上映し、主催事業の各種学習会、講演会が行われます。館長には、トゲウオの専門家森誠一さんをお迎えしており、館長によるイトヨ講座が人気を呼んでいます。



日本の文化財



イトヨと水の保全活動





特に見ていただきたいのは、観察研究棟の半地下になっているイトヨ観察コーナーです。「観察窓」からは実際に池の中で生活するたくさんのイトヨを間近に見ることができ、一日中見ているにあきることがあ

りません。「大型水槽」では、生育段階毎のイトヨを見ることができ、時期によってはイトヨの巣や稚魚を見ることができます。



観察窓から池の中のイトヨを



時にはイトヨの巣を見ることができます

## 4 イトヨの里の主な活動

イトヨの里の主な活動としては、森館長が講師となってイトヨ講座を開催しております。13年度は「水の国大野のイトヨ」をテーマに小学生、中学生、一般対象に3回の学習会を行いました。

14年度は、7月に1回目の講座を開催し、森館長より、イトヨと水環境を守る為の地域組織の連携と活動のあり方を、まずイトヨという相手を知ることからとし、参加者らは講義を聴くとともに実際に、観察池と生息池での現在の営巣状況などイトヨを見ながら学びました。

15年度は、12月に社会教育委員を対象に、「奥越の自然を水環境から考える・・・ふるさと学習にむけて」をテーマに開催しました。

また、学校の総合学習の一環として有終南小学校では、開館年度より毎年「それゆけ！

ほんがんしょうずたんけんたい  
本願清水探検隊」や「めざせイトヨ博士」と銘打ち小学生が「本願清水イトヨの里」に頻繁に通い、イトヨを考え、本願清水の保全を考え、大野の地下水について考え、それらを含む大自然との関わりについて学習しています。





地域と連携した行事として、年間パスポートを購入した子供達対象に、毎年7月には、お楽しみ会を開催しております。参加者により、イトヨの里の水槽で生まれた稚魚を観察池に放流しています。

続いて、児童センターの職員の指導で、七夕飾りをつくったりイトヨの紙芝居などで楽しいひとときを過ごしています。より多くの子どもたちが、イトヨの里に親しんでもらえるようイベントなどを企画していきたいと思っています。同様に近くの保育園児による稚魚放流会も毎年開催しています。

平成14年8月4日には、イトヨをテーマにした「イトヨ音頭」の発表会が、本願清水イトヨの里で開かれた地元糸魚町の夏祭りでお披露目され、毎年協賛で民謡の夕べなどを企画し楽しいひと時をおくります。

また、その他にも環境講座や、イトヨの木工細工づくりなどを開催しています。

このように、いろいろな活動を通じて、イトヨを地域の貴重な財産として保護・活用して、国の天然記念物に指定されている本願清水イトヨ生息地を、市民及び市外の方たちにも親しみあるものと考えています。



イトヨ稚魚の放流





イトヨの里開館から3年余りが経過いたしました。その間4万7千人近くの方々が来館くださいました。マスコミの取材はもとより、市外からも多数の方が来られています。

入館料は大人200円、子ども50円です。1年間有効のパスポートもあります。これは、大人1000円、子ども500円で年間何日でも入館することができます。

施設には職員が4名しかいませんが、施設ボランティアが8名おり、子どもボランティアも16名いて、受け付け、施設案内、清掃奉仕等の協力をしていただいています。

水のバロメーターであるイトヨを守ることは、水環境を守ることでもあります。イトヨ保護の重要性を子どもたちに常に発信し続け、自然の大切さを学んで欲しいと考えます。

開館時間 午前9時から午後5時

4月から10月末までの土日祝は午後6時まで

休館日 毎週月曜日 国民の祝日の翌日 年末・年始 館内整理の日

入館料	大人	子ども(小学生以上 中学生以下)
	200円	50円

年間パスポート	1000円	500円(1年間 何回でも入館可)
---------	-------	-------------------



## 平成13年度～16年度7月までのイトヨの里の事業概要

### 平成13年度

- 1) 落成式 平成13年7月14日(土)
- 2) 一般ボランティア研修 平成13年8月31日(金)
- 3) 本願清水イトヨの里ホームページ開設 情報の発信始まる 平成13年7月
- 4) 大垣ハリヨ生息地視察。西之川ハリヨ保存会交流会 平成13年9月30日(日)
- 5) 糸魚町清掃奉仕 平成13年10月14日(日)
- 6) 来館1万人達成セレモニー 平成13年10月25日(木)
- 7) 第1回イトヨ講座(有終南小学校5年生対象) 平成13年11月29日(木)
- 8) 第1回運営協議会 平成13年11月30日(金)
- 9) 第2回イトヨ講座(開成中学校3年生対象) 平成14年1月11日(金)
- 10) 第3回イトヨ講座(一般対象) 平成14年2月23日(土)
- 11) 職員の写真展 平成14年2月23日～3月17日
- 12) 第3回イトヨシンポジウム 平成14年3月17日(日)
- 13) 環境講座(しめ縄つくり) 平成14年3月21日(木・春分の日)
- 14) 第2回運営協議会 平成14年3月26日(火)

### 講座

第1回イトヨ講座 日 時：平成13年11月29日(木)  
テーマ：「水の国、大野のイトヨ」  
講 師：イトヨの里館長 森 誠一

対象者：有終南小学校5年生、参加人数生徒35名・教員2名  
第2回イトヨ講座 日 時：平成14年1月11日(金)  
テーマ・講師は第1回に同  
対象者：開成中学校3年生、参加人数28名・教員1名

第3回イトヨ講座 日 時：平成14年2月28日(土)  
テーマ・講師は第1回に同  
対象者：一般、参加人数28名

環 境 講 座 日 時：平成14年3月21日(木・春分の日)  
テーマ：わら細工教室(体験学習)  
指導者：「ますみ会」会員 源内武雄先生  
協力者：地元糸魚町高齢者  
対象者：小学生及び父兄、参加人数子供13名大人14名

### 平成14年度

- 1) ボランティア研修 滋賀県ハリヨ生息地、醒ヶ井視察 平成14年6月17日(月)
- 2) イトヨの放流会・お楽しみ会(小人パスポート購入者対象) 平成14年7月7日(日)
- 3) 第1回イトヨ講座(一般) 平成14年7月21日(日)

- 4) イトヨ音頭発表会 糸魚町イトヨ祭り協賛 平成 14 年 8 月 4 日(日)
- 5) 糸魚町清掃奉仕 平成 14 年 8 月 11 日(日)
- 6) 美川町ハリコ塾との交流会 平成 14 年 8 月 25 日(日)
- 7) 栃木県大田原市で開催されたイトヨ研究会議へ参加
- 8) 第 1 回運営協議会 平成 14 年 9 月 10 日(火)
- 9) 有終南小学校 豊かな体験活動「マイホームタウン活動」の受入れ 平成 14 年 9 月 18 日(木)
- 10) 岩手県大槌町で開催された自然と共生する町づくりシンポジウムへ参加
- 11) 第 2 回イトヨ講座(一般) 平成 15 年 2 月 2 日(日)
- 12) 第 4 回イトヨシンポジウム 平成 15 年 3 月 16 日(日)
- 13) 第 2 回運営協議会 平成 15 年 3 月 26 日(水)

## 講 座

第 1 回イトヨ講座 日 時：平成 14 年 7 月 21 日(日)  
 テーマ：「大野のイトヨを知る」  
 - 本願清水イトヨの里のイトヨ生息状況調査 -  
 講 師：本願清水イトヨの里 館長 森 誠一  
 対象者：一般、大野イトヨの会、運営協議会委員、ボランティア会員  
 参加人数 15 名

第 2 回イトヨ講座 日 時：平成 15 年 2 月 2 日(日)  
 テーマ：大野に生育する水辺の植物  
 講 師：石本昭司氏 県ナチュラリストリーダー  
 対象者：一般、大野イトヨの会、パスポート購入者(大人)  
 運営協議会、ボランティア会員  
 参加人数 26 名

イトヨの放流会・お楽しみ会 日 時：平成 14 年 7 月 7 日(日)  
 内 容：イトヨの稚魚の放流と七夕飾り付けとレクレーション  
 目 的：イトヨの里の子供を対象にしたパスポート購入者とちょボ  
 ラの子供たちに対して感謝の会を開催する。  
 対象者：子供パスポート購入者、ちょボラ会員  
 参加人数 38 名

## 平成 15 年度

- 1) 開成中学校理科部の水槽でのイトヨの繁殖実験の支援開始 平成 15 年 4 月 18 日(金)
- 2) 開成中学校善意銀行ボランティア(自然保護プロジェクトチーム)の奉仕活動の受け入れ  
平成 15 年 5 月 25 日(日)
- 3) 開成保育園による稚魚放流会と七夕飾りのプレゼント 平成 15 年 6 月 20 日(金)
- 4) 有終南小学校 3 年総合学習による、義景清水ヘイトヨの放流実験開始平成 16 年 6 月 25 日  
(水)
- 5) 2003 年度日本魚類学会公開シンポジウムへ参加
- 6) 開成中学校「善意銀行」奉仕活動第 2 弾の受け入れ 平成 15 年 8 月 6 日(水)



- 7) 糸魚町イトヨ祭り協賛 「唄と津軽三味線、民謡の夕べ」平成 15 年 8 月 10 日(日)  
第 1 回運営協議会 平成 15 年 8 月 10 日(日)
- 8) 独立行政法人土木研究所自然共生センター視察・美濃市散策 平成 15 年 8 月 24 日(日)
- 9) イトヨ探検隊(市内のイトヨ生息調査)開成中学校理科部合同 平成 15 年 8 月 29 日(金)
- 10) 平成 15 年度第 1 回イトヨ講座「奥越ブロック社会教育委員、一般対象  
第 2 回運営協議会 平成 15 年 12 月 8 日(月)
- 11) 文化財防火デー 防火訓練 平成 16 年 1 月 21 日(水)
- 12) 第 5 回イトヨシンポジウム 平成 16 年 2 月 28 日(土)

## 講座

- 第 1 回イトヨ講座
- 日 時：平成 15 年 12 月 8 日(月)
- 内 容：「奥越の自然を水環境から見る・・・ふるさと学習にむけて」
- 講 師：森 誠一館長
- 対象者：奥越社会教育委員連絡協議会・運営協議会・一般  
参加人数 40 名

## 平成 16 年度

- 1) 福井県立大学院研究生受け入れ 平成 16 年 5 月 5 日(水)から 11 月
- 2) 平成 16 年度運営協議会 平成 16 年 6 月 4 日(金)
- 3) 国家公務員初任研修受け入れ 平成 16 年 6 月 8 日(火)
- 4) 開成中学校善意銀行ボランティア受け入れ 平成 16 年 7 月 3 日(土)
- 5) 大野子どもサマーフェスタ「イトヨ塾」イトヨの木工細工 平成 16 年 7 月 4 日(日)
- 6) 大野イトヨの会総会 平成 16 年 7 月 9 日(金)
- 7) 第 2 回トゲウオ全国サミット in Ono 平成 16 年 9 月 25 日(土)開催予定
- 8) 「トゲウオがつなぐ北陸地域連携交流会」 平成 16 年 10 月 30・31 日開催予定

## 大野子どもサマーフェスタ「子ども環境塾」(イトヨ塾)

- 日 時：平成 16 年 7 月 4 日(日)
- 内 容：イトヨの木工模型づくり・木製模型にふれる
- 対 象：小学校低学年親子対象 30 組

## 大野イトヨの会共催事業

### 平成 13 年度

- 1) イトヨの会総会 平成 13 年 7 月
- 2) 大垣ハリヨ生息地視察・西之川町ハリヨ保存会との交流会
- 3) 第 3 回イトヨシンポジウム

## 視 察

### 大垣ハリヨ生息地視察・西之川町ハリヨ保存会との交流会

日 時：平成 13 年 9 月 30 日（日）

見学地：加賀野八幡神社・大垣城・郷土館・西之川ハリヨの池広場

交流先：西之川町ハリヨ保存会

参加者：参加人数 25 名

考 察：地元の組織力、学校とのつながり、自分たちの出来る範囲の企画、地元が行政を動かす。以上のことが大切であると痛感しました。

## 第 3 回イトヨシンポジウム

日 時：平成 14 年 3 月 17 日（日）午後 1：30～4：30

場 所：有終会館 106 号室

テーマ：『まちづくり発信：イトヨの里から』

- 市民によるイトヨを通じた水環境の保全 -

趣 旨：平成 13 年 7 月にオープンしました「本願清水イトヨの里」は国の天然記念物である「本願清水イトヨ生息地」を自然・文化・歴史などの学習や、環境保全、地域作りに活用しようとするものです。現在多くの来館者を迎えており、イトヨに関心のある個人や団体の方にさまざまな活動をいただいています。

シンポジウムは、関係者が一堂に会して意見を交換し、論議する中で、さらにこれらの活動を高めるために開催します。

内 容：第 1 部 基調講演 演題「鮎を守るための研究を市民とともに

・・・矢作川での取り組み・・・」

講師 山本俊哉 研究員（豊田市矢作川研究所）

### 第 2 部 パネルディスカッション

パネラー 山本俊哉氏 豊田市矢作川研究所 研究員

柳瀬 崇氏 西之川町ハリヨ保存会 会長

橋本幹雄氏 有終南小学校校長

杉本敏憲氏 大野イトヨの会会長

コーディネーター

森 誠一 本願清水イトヨの里館長

## 平成 14 年度

1) 大野イトヨの会総会 平成 14 年 5 月 20 日（月）

2) イトヨグッズ協議会 平成 14 年 8 月 9 日（金）

3) 美川町トミヨ生息地視察・はりんこ塾との交流会 平成 14 年 8 月 25 日（日）

4) 第 4 回イトヨシンポジウム

## 視 察

### 美川町塾との交流会

日 時：平成 14 年 8 月 25 日（日）

見学地：美川町安産川・石川ルーツ交流館・キリンビール北陸工場・鶴来ふれあい昆虫館

交流先：まちづくりグループはりんこ

参加者：参加人数 30名

考 察：今回の交流会は、会員の中に行政、俳句の会、大野の水を考える会、糸魚町の区民と、多方面からの参加で、研修としては意義あるものでした。

#### 第4回イトヨシンポジウム

日 時：平成15年3月16日(日)午後1時～3時35分

場 所：本願清水イトヨの里 レクチャールーム

テーマ：『イトヨの里に学ぶ環境保全とまちづくり』

趣 旨：「本願清水イトヨの里」が開館して1年8ヶ月過ぎ、イトヨの生態自然・環境等の学習の場として、地元の皆さんの支援を得て定着しつつあります。

この現状をふまえて、より効果的に自然に学ぶことの重要性を理解しイトヨの保護と生活環境をとおしたまちづくり活動を高めるために第4回イトヨシンポジウムを開催します。

内 容：特別講演 多自然型川づくりとは何かー

講師 萱場祐一氏 独立行政自然センター長

発表1．奥越の河川が抱える問題点

県土木部河川課 主任 脇本幹雄氏

2．有終南小マイホームタウン活動

有終南小学校 校長 橋本幹雄氏

3．本願清水イトヨの里のこの一年

本願清水イトヨの里 副館長 上松博道

まとめ 本願清水イトヨの里 館長 森 誠一

#### 平成15年度

1) 大野イトヨの会総会 平成15年6月9日

2) 視察研修旅行 平成15年8月24日(日)

3) イトヨ探検隊 平成15年8月29日(水)

4) 第5回イトヨシンポジウム

#### 視 察

独立行政法人自然共生センター視察

日 時：平成15年8月24日(日)

見学地：独立行政法人自然共生センター・美濃市内

参加者：参加人数 27名

考 察：大野イトヨの会の会員はもとより、行政、市民環境団体、地元町内、大学生が卒論の参考にと目的を持っての参加者がほとんどで、大変意義深いものであった。



## 第5回イトヨシンポジウム

日 時：平成16年2月28日（土）

場 所：多田記念大野有終会館

テーマ：自然と人との共生「地域資源を活用し、地域を元気にする学校と地域住民の役割」

趣 旨：イトヨを含めた大野の恵まれた自然を、どう守り育てていくかを人間だけの視点で考えるのではなく、それぞれの生きものの過去、現在、未来を見すえながら、私たち一人ひとりがどう自然とかかわるかを問いかけ、地域資源を活用した地域を元気にする学校と地域住民の役割を見出すために開催します。

内 容：第一部 基調講演 『地域の宝物を探そう ビオストーリーの視点』

総合地球環境学教授 秋道智彌 氏

寸劇発表：有終南小学校3年『総合的な学習の取り組み』

第2部 研究発表

開成中学校理科部（イトヨ生息調査）

大野の水を考える会（市内河川の水質調査）

中野清水を守る会（湧水地復元への取り組み）

大野明倫館『水の見えるまち大野』研究活動報告

平成16年度

1) 大野イトヨの会総会 平成16年7月9日（金）